

△産業宣教 三位一体の神様が私のやぐら (創 1:27)	△RT と TCK 伝道学 三位一体の神様の働き (マタ 28:16-20)	△核心 これ以上必要なことがない弟子 (ヨハ 19:30)	△散らされた弟子たち 三位一体の神様が 私の見張り人 (1 ペテ 2:9)
<p>□序論_緊急にすべきこと</p> <p>1. 以前のやぐらを変えなさい。</p> <p>1) ユダヤ人思想 ユダヤ人は選民、他の人はみな異邦人。完全に死ぬ思想</p> <p>2) ユダヤ人信仰 ヤハウェの神様とメシアがイスラエルのものだという間違った信仰</p> <p>3) イスラエル歴史 奴隷から流浪の民までがイスラエルの歴史</p> <p>2. 新しいやぐら</p> <p>1) イエスが3年の公生涯の間、ともに生活をされた。</p> <p>2) 40日間(オリブ山)神の国のことを説明。正確なミッション</p> <p>3) この契約を握って10日間、マルコの屋上の部屋に</p> <p>4) 聖日にすること(使2:42) -講壇メッセージを握って、会うたびにキリストの恵みを覚えて、信徒を尊く考える。熱心に祈っていた</p> <p>5) 毎日(使2:46-47)家で家々で働きが起る</p> <p>6) 午後三時の祈りの時間(定刻)に全教会員が課題を定めて祈った(使3:1-12)</p> <p>7) 24になる。どんな状況でも神の国のことを答えとして受ける(25)。世々にわたる前から、とこしえまであることを答えとして受ける。エペ6:18、ロマ16:25-27絶対だ。</p> <p>3. 絶対やぐら</p> <p>1) 使2:9-11 15か国の門 2) 使8:4-8 サマリア</p> <p>3) 使8:26-40 ピリポにエチオピアの宦官に会うように</p> <p>4) 使9:36-43 人を生かした女弟子タビタ</p> <p>5) 使11:19、12:1-25 重職者産業人を通して最も難しい時にアンティオキア教会ができる。ペテロが閉じ込められたとき、全教会員が集まって祈り</p> <p>□本論</p> <p>1. 創1:27 私のいのちの中に、私のたましいの中に、神様のやぐら建てる</p> <p>1) このいのちを受けられなければ、結局、闇、何もない、茫漠の中に</p> <p>2) 神様がこのとき、みことばで創造。ことばは神様。神様のみことばを正しく握りなさい。証拠が来てこそ、力がある</p> <p>3) 創1:27、28 神のかたちが臨めば、来る答えが征服して治めること。</p> <p>2. マタ28:16-20(Trinity) 神様のみことばと本当のことを信じて始まり。産業人がすべての民族、すべての種族に伝えることができるほど働かれる。</p> <p>3. 使1:1-8 ただ聖霊が臨めば世界を生かす力を受けて地の果てまで証人になるというみことばを信じるべき</p> <p>□結論</p> <p>ロマ16章の祝福が与えられる。</p> <p>25-27節 神様が世々にわたって隠されていたこと、とこしえまであることを皆さんに与えられた。すべての重職者は、この祝福を受けて牧会者と教会、次世代を生かす証人になること</p>	<p>未信者は長寿、財物、名誉、子孫が多いことが祝福だと話す。しかし、聖書で最高の祝福は三位一体の神様が私に働かれることだ。</p> <p>1. 三位一体の神様がされること三つ</p> <p>1) 今も救いの働きを成し遂げて</p> <p>2) みことばを成就して</p> <p>3) 祈りに答えておられる。イエスが教えられた神の国とそのこと、御座の力を祈りなさい。最後に神の国について40日間説明された。</p> <p>2. レムナントが必ず味わうべき10の土台(1歴29:10-14) →永遠</p> <p>神様の絶対主権、神様の方法、キリスト。神様の力、聖霊。神様の保証書、みことば。神様が与えられ保証、神様の宮。私がいる所が宣教地。私のすべての生活を神様が守られる。私たちはこの地に来て帰って行く。地獄がある。私たちが福音を伝えることは報いを失わない。これが永遠にある。</p> <p>3. TCKがより一層覚えるべきこと</p> <p><u>Nobody、Nothing</u></p> <p>神様は皆さんを一人で生き残れるようにされる。現実だけ見ずに霊的なことを先に見なさい。答えは別の側にある。TCKは、どこにでも行って、すべての人を生かしなさい。危機が答えだ。競争しないで勝つ。再創造。サミットとして立てる。それゆえ、砂漠、荒地、荒野に行きなさい。理由、世界福音化。そうでなければ、世界福音化できない。</p> <p>TCKは育つ時はアイデンティティが揺れるように見えて不利だが、育つ後には有利だ。皆さんの残りの旅程は、神様の計画の中にある。皆さんを通して世界福音化は続けて起る。一番重要なことは、神様が祝福しておられるのに、私たちが更新できなくて悟れないことが多いということだ。</p>	<p>レムナントは時代を見通して本当に祈って契約の中であらかじめ準備しなさい。これ以上必要なことがない弟子、どのように、このようになるのだろうか。</p> <p>□序論_最初、最後、永遠の答え= <u>Trinity</u>三位一体の神様が、実際に私とともにおられること</p> <p>1. モーセ(出3:1-20) -神様が直接力を約束された。</p> <p>2. Iサム7:1-15 ペリシテは問題ではない。みな捨てて主に立ち返りなさい。サムエルが生きている間ペリシテが攻め込むことができなかった。</p> <p>Iサム17:1-47 主の御名で立ち向かったダビデ</p> <p>△レムナントは世界福音化する水準になるべきだ。そうしようとするなら、この力でなければならない。</p> <p>3. II列6:8-24 ドタンの町で戦わないで勝った力</p> <p>4. ダニ6:10-20 祈り一つで勝利したダニエル</p> <p>△実際に、朝夜に少しだけ味わえば昼のことが見える。それが祈りで3集中だ。そうしてこそ、3セッティングされて、3答えを見ることができる。</p> <p>5. 使1:1-8 キリスト、神の国、ただ聖霊</p> <p>□本論_参考</p> <p>最後にキリストが直接約束された。「天と地の権威を持って、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます」</p> <p>1. 始まりの興義</p> <p>1) ヨハ19:30 完了した。私にある問題は始まりだ。</p> <p>2) エペ6:10-20 私たちの使命はサタンとの戦いだ。</p> <p>3) 使1:1-8 力を約束された。ただキリスト、ただ神様と神の国、ただ聖霊、この力が必要なのだ。このことばは、世界福音化する人だけがわかる。</p> <p>2. 三位一体の働きが見える。</p> <p>1) 創1:27、2:7 三位一体の神様の働きが一番最初に私の中に、私のいのちとたましいの中に臨むのだ。</p> <p>2) このときから、みことばと救いと祈りに関する答えが見え始める。</p> <p>3) 御座の力が神の国として臨んで、そのことが成り立つのだ。</p> <p>3. 乏しいx</p> <p>1) 詩23:1-6 主は私の羊飼い、神様が私の杖、私のむちになる。私は主の家にとこしえに住みます。</p> <p>2) バビロンの弟子-神様のみことば、真理ならば大丈夫だという勇気があるべき。</p> <p>3) 初代教会-危険の中に集まったマルコの屋上の部屋、アンティオキア教会、ロマ16章重職者と彼らが育てたレムナント</p> <p>△未信者状態から抜け出しなさい。宗教人の状態になってはならない。福音の状態。肉的信仰から抜け出しなさい。やぐら、旅程、道しるべ、霊的な力が必要だ。</p>	<p>1. イザ62:6-12</p> <p>1) 「終日終夜、主を休ませてはならない」 = 「終日終夜、主は休まない」</p> <p>2) 「大路を造りなさい」</p> <p>3) 「もろもろの民の上に旗を揚げよ」</p> <p>2. エゼ3:18-20 「すべての人が聞くことができるように、見張り人になりなさい」</p> <p>「血の責任」このような使命で呼ばれた。</p> <p>3. Iペテ2:9 「あなたがたは王である祭司だ」「光」を宣べ伝えるために呼ばれた。暗闇に照らす光のことを言う。今、地球上が続いて暗闇に覆われているので、急速に精神疾患が増加している。光、照らさなければならぬ。</p>

△区域メッセージ第 19 週 3 いのちと永遠の答え(創 1:27、2:7、2:18)	△聖日 1 部 親がするべきこと(Ⅱテモ 3:14-17)	△聖日 2 部 子どもがするべきこと(Ⅱテモ 2:1-7)
<p>□序論</p> <p>1. 神様が力で働く？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 御座の力でともにいると言われた。</li> <li>2) それゆえ、時空超越ということばが出るのだ。</li> <li>3) 空前絶後の答えを受けるようになる。</li> </ol> <p>神様の聖霊によって、このことが起こる。</p> <p>△これをよく信じないから、その機会を利用してサタンがネフィリムで時空超越と空前絶後の働きを起し始めたのだ。サタンが空中の権威を(エペ 2:2) 捕らえて、ものすごいパワーを持った。</p> <p>2. 人々の大きな問題は、おもに考えから来る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 間違った考えに間違った答えが来て、考えが固まったのが思考だ。</li> <li>2) 大きな傷を受けるときがある。</li> <li>3) 大小の衝撃を受ければ、トラウマになる。</li> </ol> <p>3. 癒やし この部分を分かってこそ、実際に癒やしが何かとうことが分かるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 目に見えない霊的癒やしだ。 2) 心の病気になる。</li> <li>3) このような部分が合わさって精神疾患になる。</li> </ol> <p>□本論</p> <p>1. 創 1:27 私のたましいに問題が来たのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1:26 三位一体の神様が私たちとともにおられる奥義「われわれが」</li> <li>2) 1:27 神のかたちとして創造された。これ奪われてしまったので、みな滅びるのだ。</li> <li>3) 1:28 神様が人間に一番最初に与えられたみことば「地を満たし、従え、治めなさい」</li> </ol> <p>2. 創 2:7 神様がたましいの中にいのちの息を吹き込まれたことを味わうべきだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エゼ 37:1-11 「みことばを預言しなさい。いのちの息を吹き込みなさい」これが聖霊の働きだ。</li> <li>2) ゼカ 4:6 私たちの権力や能力ではできなくて、主の霊によってできるのだ。</li> <li>3) ヨハ 20:22、使 1:8 それゆえ、イエスが息を吹きかけて聖霊を受けなさい。聖霊に満たされれば力を受けると言われた。</li> </ol> <p>3. 創 2:18 エデンの園-生活の祝福、力を言う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エデンの園の祝福を失った。</li> <li>2) 創 3:15 それゆえ、初めから福音を与えられた。</li> <li>3) 創 3:4-5、6:4-8、11:1-8</li> </ol> <p>今も起っている。「神様を信じる必要ない」エデンの園事件。結局は、私しか味わえない利己主義にする。ここから抜け出さなければネフィリムになる。教会に通いながら福音を味わえなければ、偶像崇拜をすることと同じで、結局、バベルの塔のように崩れる。</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創 1:27 <b>やぐらの祈り</b> 私のの中に神様のやぐらを建てる祈りを始めなさい。</li> <li>2. 創 2:7 <b>旅程の祈り</b> 神様の旅程に従っていく祈りを植えなさい。</li> <li>3. 創 2:18 <b>道しるべの祈り</b> 神様の絶対やぐらの道しるべの祈りを始めなさい。</li> </ol>	<p>□序論</p> <p>1. すべてをみな持っても、いのちを失えばどうなるのか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) すべてをみな持ったが、霊的に無知、霊的力がなくて、幼い時から問題が来たパウロ</li> <li>2) 持っていた傷と難しい部分が、霊的ながんに変わって困難の中に陥ること</li> <li>3) 霊的混乱状態(Ⅱテモ 3 章、終わりの日には困難な時)</li> </ol> <p>2. 危機が来るたびにレムナントを立てられ、その時にはその前に親に先にメッセージを与えられた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヨセフの世界福音化の夢を心にどめたヤコブ</li> <li>2) 息子を王宮に送って人を生かす契約を握ったモーセの母</li> <li>3) ナジル人の契約を握ったハンナ</li> </ol> <p>3. レムナントが神様の力で勉強できるようにすべきだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 強大国に囲まれたイスラエルが悟れないで 7 回のわざわい。悟れば、すべて道になる</li> <li>2) レムナントが永遠に苦勞して、親が持っている霊的問題をそのまま受け継いで死ぬ。</li> <li>3) パウロに霊的知識が入った時から世界変化</li> </ol> <p>□本論</p> <p>1. 福音の力を次世代に刻印させなさい-キリストの中にある救いに至る知恵(15 節)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 3:15 悟ったヨセフ 2) 出 3:18 血のさげ物をわかったモーセ</li> <li>3) イザ 7:14 この価値を分かるレムナントを作りなさい。</li> <li>4) マタ 16:16 告白したペテロ</li> <li>5) ロマ 1:16-17 を告白したパウロが世界を生かし、ルターが暗闇をひっくり返した。</li> </ol> <p>2. みことばの力に根をおろすようにさせなさい(16 節)</p> <p>※すべてのみことばは神様の感動で書かれたこと-教え(あらかじめ教えること)、戒め(失敗を知らせること)、矯正(道を開いてあげること)、義の訓練のために有益(世の中だけでは勝利できないので)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) みことばの背景 2) みことばの流れ</li> <li>3) みことばで未来を知らせてあげなさい。</li> </ol> <p>3. 次世代が未来のわざわいを征服するように体質化させなさい-十分に整えられた者とするみことば、すべての事を行った後で立つようにするため(17 節)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神病時代 2) 中毒時代 3) 霊的、肉体的伝染病時代</li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次世代が福音の力で、みことばの流れの中にいるように、未来のわざわいを征服することができるようにさせなさい。</li> <li>2. テモテは最高の伝道者の弟子(Ⅱテモ 2:1 私の子)、ギリシアとマケドニアを生かす弟子、ローマと世界福音化の弟子になった。</li> <li>3. 福音を握って祈り       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病んでいる人-聖霊の働きが私のたましいを生かして、私の中にいのちの息とエデンの祝福が回復するほど、深く呼吸して祈りなさい。</li> <li>2) 皆さん-私自身、環境も忘れるほど祈り</li> <li>3) レムナント-ヨセフ、ダビデのように深い祈りの中に</li> </ol> </li> </ol> <p>※聖日-何の考えも出ないほど深く祈りに入りなさい。</p>	<p>何をしなければならぬかより、レムナントのために神様が時代ごとに何を準備されたかが重要だ。</p> <p>□序論 <b>霊的サミット</b> になれるように準備された。</p> <p>創 41:38、使 1:8 この約束は、世界福音化するために与えられたのだ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RT を立て起こして世界をわざわいを止めなさい。</li> <li>2. RT を立て起こして世界福音化が起こった。</li> <li>3. 霊的問題がものすごく来ている。       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自殺 2) 中毒 3) 殺人が全世界に広まっている。</li> </ol> </li> </ol> <p>△教師たちは霊的サミットになって子どもたちを癒やす必要がある。祈って未来を準備するようにすべきで、タラントを発見させるべきだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. Ⅱテモ 1:4 世界福音化の<b>罫</b>が通じる者、<b>霊的サミットを知る者</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Ⅱテモ 1:2 私の子</li> <li>2) Ⅱテモ 1:3 夜屋祈りの中であなたを思い出す。</li> <li>3) Ⅱテモ 1:5 証拠-この信仰は祖母ロイス、母ユニケに宿ったもの</li> </ol> <p>△なぜイスラエルにこのようなことが起こったのか、何をしなければならぬのか分かるのだ。</p> <p>2. 神様の方法を知る者 <b>Ⅱテモ 2:1-7</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 兵士(3 節) -完全に責任を負うから心配しないように。</li> <li>2) 競技する者(5 節) -神様のみことばを握って行けば良い。</li> <li>3) 農夫(6 節) -世界福音化するとき、皆さんが先に祝福を受ける。</li> </ol> <p>△共通点が 24 だ。神様の方法は 24、25、永遠だ。</p> <p>3. 神様の力、使命を知る者 <b>私の本業-伝道弟子 決断すべき</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 困難とその理由(Ⅱテモ 3:1-13) -神様を離れて自分しか分からないため</li> <li>2) Ⅱテモ 3:14-17 幼いころから神様のみことばを分かった。</li> <li>3) Ⅱテモ 4:1-5 時が良くても悪くても伝道者になりなさい。</li> </ol> <p>□結論</p> <p>1. Ⅱテモ 2:7</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) みことば-礼拝だけ正しくささげて、みことばだけ握っても良い。</li> <li>2) すべてのことに 3) 聡明(理解する力)を与えてください。</li> </ol> <p>2. Ⅱテモ 3:17 このみことばは、あなたを十分に整えられた者とするみことばだ。</p> <p>3. Ⅱテモ 4:22 主があなたの霊とともにいてくださいますように。恵みと平安があなたがたとともにありますように。</p> <p><b>感謝</b> 聖日に礼拝に来るときは、感謝を持って来るべきだ。本当に答えを受けて救いが何か分かれば、そのようになる。</p> <p><b>ときめき</b> 礼拝をささげるたびに「今日、神様が私に与えられる恵みは何か」ときめきがあれば終わりだ。</p> <p><b>情熱</b> 神様をほめたたえる感謝と情熱を持って。感謝をなくしたとすれば、みな失ったのだ。</p> <p>△学業は一步先んじて職業は時代を先んじるべきだ。伝道宣教は 3 団体を先んじなければならない。大人は、仕事をする中に未来と次世代準備をしなければならぬ。病んでいる者は、神様の力を体験するのだ。世界福音化できるべきだ。私たちの次世代が起きて暗闇を止めるべきだ。</p>